

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成27年6月の優しさ通信

孤独な高齢者 認知症リスク — 日本福祉大など調査

交流少ないほど発症率上昇 早期死亡の恐れも



同居人以外との交流が週1回未満のお年寄りは、要介護や認知症になるリスクが、毎日頻繁に交流している人より約1.4倍高いことが日本福祉大や千葉大などの研究チームの調査でわかりました。月1回未満では死亡リスクも高まりました。研究チームは「社会的孤立が健康に影響を及ぼすことをお年寄りに知ってほしい」と呼びかけています。

(2015年5月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

軽度認知症に脳梗塞薬 — 循環器病センター 臨床試験を開始



国立循環器病研究センターは、脳梗塞の再発予防に使う薬で、軽度の認知症患者を治療する臨床試験（治験）を医師主導で始めると発表しました。マウスの実験で脳にある認知症の原因物質を取り除く作用などがわかってきました。神戸大など11施設が参加する見込みで、3年間をかけて効果を見極めます。

治験を受けるのは、日常生活は問題ないものの、時々忘れ物をしたり、人との約束を忘れてりする軽度の認知症患者。国内に800万人いるとされる認知症患者のうち、400万人ほどが対象。

服用した患者の中に軽度の認知症が改善した人がいたほか、認知症の原因物質とされる「アミロイドベータ」が脳にたまるのを減らす効果が明らかになりました。

(2015年5月27日 日本経済新聞記事から抜粋)



テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。



今月の福祉用具 - 排泄関連用具 その5

ポータブルトイレの種類

☆スタンダード型ポータブルトイレ

プラスチック製で、最も標準的なタイプ。
サイズ調整機能があるものは多くありません。
軽くて、持ち運びには便利。
安定感は悪い。

☆木製いす型ポータブルトイレ

木製の椅子の形で、座面の下に便座が隠れています。
普通の椅子のようなので、違和感が少なく済みます。
安定感がありますが、重いので移動は困難です。
便座が木製の物は、清潔感が保ちにくい欠点があります。

☆コモードタイプポータブルトイレ

四脚型のステンレスパイプで作られたものが主流。
輸入品が多く、海外ではシャワーチェアとしても利用。
居室にはあまり似合わないようです。
丸洗いができるので、衛生管理がしやすいのが特徴。
持ち運びも容易です。

☆ベッドサイド設置型ポータブルトイレ

スチール製。
ベッドサイドに設置して、ベッドからの移乗をしやすくするように考えられています。

高さ調整も可能なので、設置の際は、ベッドのマット面と高さを合わせます。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキストより)

